



関西大学千里山キャンパス
村野藤吾建築作品マップ

関西大学千里山キャンパス配置図(2018/03現在)

■ : 現存する村野藤吾設計の建物
()内は竣工年

第1学舎

①簡文館(関西大学博物館・旧千里山図書館)
法文学舎(第1学舎)1号館と共に竣工。2階への外部スロープは2006年に撤去。

隣接する関西大学なにわ大阪研究センターの玄関庇②は、村野藤吾の千里山キャンパスでの最初の作品の一つ、大学ホール(1952年)のものを移築。また、関西大学なにわ大阪研究センターの北面には、旧1号館ピロティにあった、数色のタイルを使ったモザイク壁画③が残されている。

④第1学舎2号館

大教室棟。村野コレクション(京工織)には中央の大階段のエスキースが多く残っている。

⑤岩崎記念館(旧大学院学舎、現外国語学部)

村野藤吾の千里山キャンパス初の作品であった旧大学院学舎の建替え。窓のデザインが1層ごとに異なる。同様の意匠は、関西大学第一高等学校の校舎にも見られる。



④第1学舎2号館



⑤岩崎記念館



⑧誠之館2号館



⑨誠之館和室

第2学舎

⑥円神館(ITセンター・旧専門図書館)

第2学舎(経・商学部)と第4学舎(理工系学部)を対象に、第2の図書館として1964年に竣工。16本の柱で支えられた円形の閲覧室と吊り下げられたガラス・キューブの事務室が印象的。現在、内部は大幅に改修し、ITセンターとして利用されている。

第4学舎

⑦第4学舎1号館・2号館

新校舎の増築等により、中庭など外部空間の変化は大きい。骨格は保たれている。2号館教室棟のピロティのトイレのデザインは必見。



中央ゾーン(共用施設)

⑧誠之館: 学生の課外活動のための施設群。購買部・食堂の1号館は解体されたが、2号館以降は現存。コンクリートブロックの使い方や高低差を生かした配置などが村野藤吾らしい。

⑨誠之館和室(通称千里庵)

村野の和風建築。屋根のむくりが美しい。

⑩KUシンフォニーホール(旧特別講堂)

小山に荒々しく建物を挿入したような配置で、コ

ンクリート打放しの粗野な意匠が特徴的だったが、2006年に改修。側面の調光室の凸部の意匠がポイント。

第3学舎(旧大学外苑/千里山花壇跡地)

⑪第3学舎1号館

1950年に関西大学は、旧千里山遊園を購入し、関西大学外苑と称した。その一部に、社会学部の学舎として建設。

エントランスホールに左右対称に配された階段が印象的。階段は、円形の吹抜とトップライトのある幅広の廊下のある上階へつながる。近年、耐震改修により、さまざまな変化が見られる。



⑪第3学舎1号館



⑫一高校舎

⑫関西大学第一中学校・第一高等学校

関大一中・一高は、設立当初天六キャンパスに在っていた。1953年一高校舎が竣工、その後順次校舎が増設され、現在に至る。線路に面する一高グラウンドは、千里山遊園時代の大運動場とその観客席をそのまま利用したもの。建物や他の施設も、千里山花壇の地形を生かして配置されている。

⑬関西大学会館: 大学本部(内部非公開)

4階広間に至る階段は金属製のらせん階段で、村野藤吾の階段らしいシークエンスが感じられる。正面玄関の庇は後補。